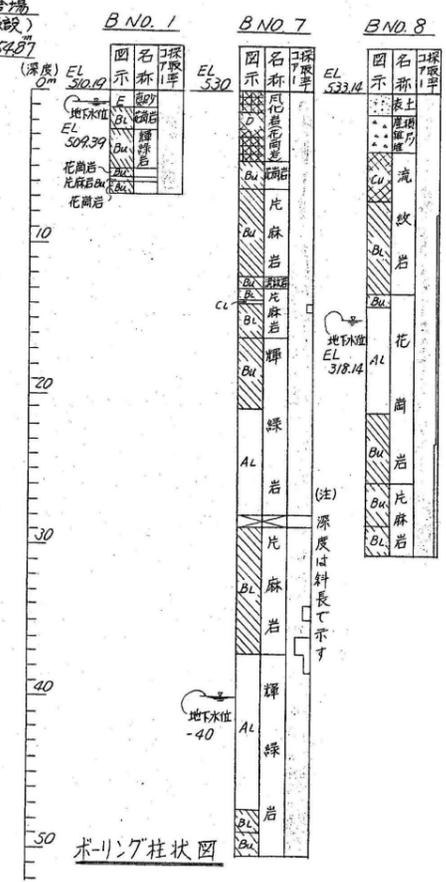
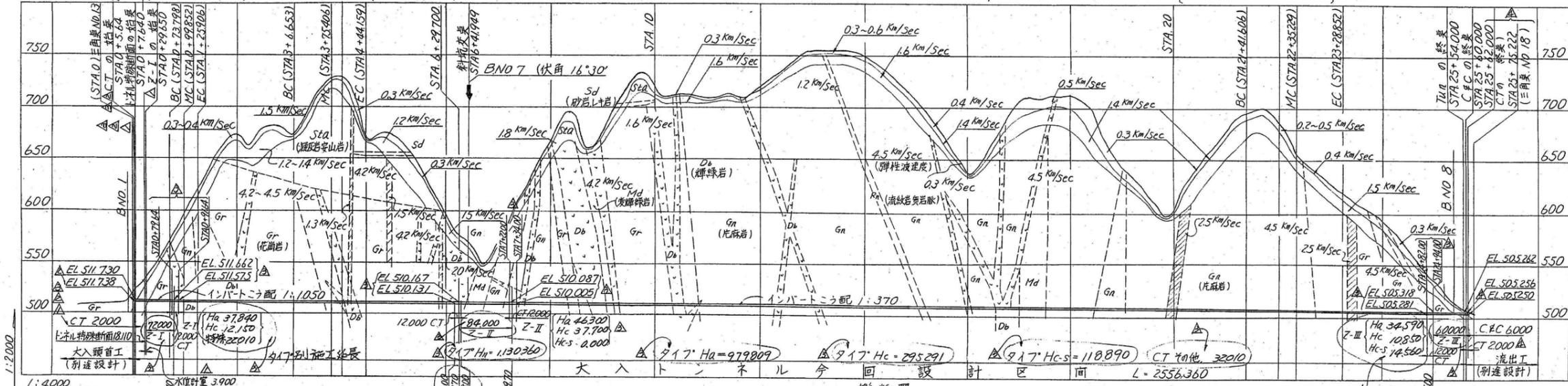


平面図 縮尺 1:4000

凡例 地盤地質調査による地質境界 弾性波式調査による破砕帯軟弱部 推定断面 速度帯区分



**大入トンネル地質説明**

トンネル路線周辺は傾斜成層岩類を基盤としこれを侵襲火山岩類、設祭堆積岩類および未固結の才4紀層が覆っている。以下施工面付近の地質状況を略記する。

入口-600m --- 花崗岩とこれを貫く輝緑岩の岩脈を主とする。いずれも堅硬で弾性波速度の低い区間以外問題はない。岩脈の周辺は多少破砕されている程度である。多量の湧水はない。なお地質断面図の輝緑岩、岩脈の位置、規模形状は模式的に表わしたものである。

600~800m --- 片麻岩と輝緑岩の岩脈を主とする。本区間は倉沢の下方にあり、破砕帯の存在が予想されるのでかなりの湧水があると予想される。凡化した片麻岩は片状の雲母の集積面より剥離しやすいので天端よりの肌路方に注意しなければならない。

800~1000m --- 花崗岩と輝緑岩を主とする。岩脈周辺の多少の破砕が予想される以外問題はない。

1000~2300m --- 片麻岩を主としこれに流紋岩、輝緑岩の岩脈が貫いている。断層岩脈の周辺に割目が多いと見られるが粘土化は大规模なものなく、新鮮で堅硬な良岩である。湧水は1600m±の小沢、1900m±の三又沢の下方で多少予想される。

2300m-出口 --- 花崗岩と片麻岩の互層および流紋岩岩脈を主とする。低速区間以外問題はない。既述出口は5m±の深さで傾斜(45°±)した産層堆積層があるのでトンネル施工中、施工後とも注意が必要である。

**一般注意事項**

I 一般

- この注意事項は大入トンネルの設計施工に関する基本的事項を示し、関連図面のすべてに適用する。
- 特に図示する以外は設計図に示す測定標高は現地で示すすべての構造寸法は加減で示す。
- 図示するトンネル断面のタイプ区分は積算のためのもので実施にあたっては監督員が各部分のタイプを判定する。
- 図面に用いる記号は次のとおりである。  
C#C --- 暗きまたは暗き断面のトンネル。 C.T --- クロスドランジション  
O.T --- オートランジション

II 本体

- トンネル掘削は全断面式を原則とするが他の方法によってもよい。但し支保工は図示する鋼製アーチとする。
- トンネルタイプ各断面の周囲は次の支持力を必要とする。  
917 Ha, Hh, Hg --- 500%  
917 Hc --- 300%  
917 Hcs --- 200%  
暗き断面 --- 25%  
C#C --- 8%  
C.T --- 10%
- 鉄筋コンクリート構造物の基礎は次の支持力を必要とする。  
C#C --- 8%  
C.T --- 10%
- コンクリートの設計強度および粗骨材の最大寸法は特に示す場合のほかは次のとおりとする。  
 $\sigma_{28} = 210 \text{ kg/cm}^2$  粗骨材の最大寸法 = 40 mm
- 吹付用コンクリートまたはモルタルの設計強度は  $\sigma_{28} = 350 \text{ kg/cm}^2$  とする。
- トンネルライニングのグラウティングは監督員の指示により主として有支保区間に行なう。

7. 鉄筋工については (2) II 管体(鉄筋工)と適用する。

III 坑外工など

- 特に示す以外は T-4, III 坑外工による。
- すべての埋戻しは、別に指示がなければ A2 盛土とする。

IV 関連図面、参照図面は次のとおりとする。

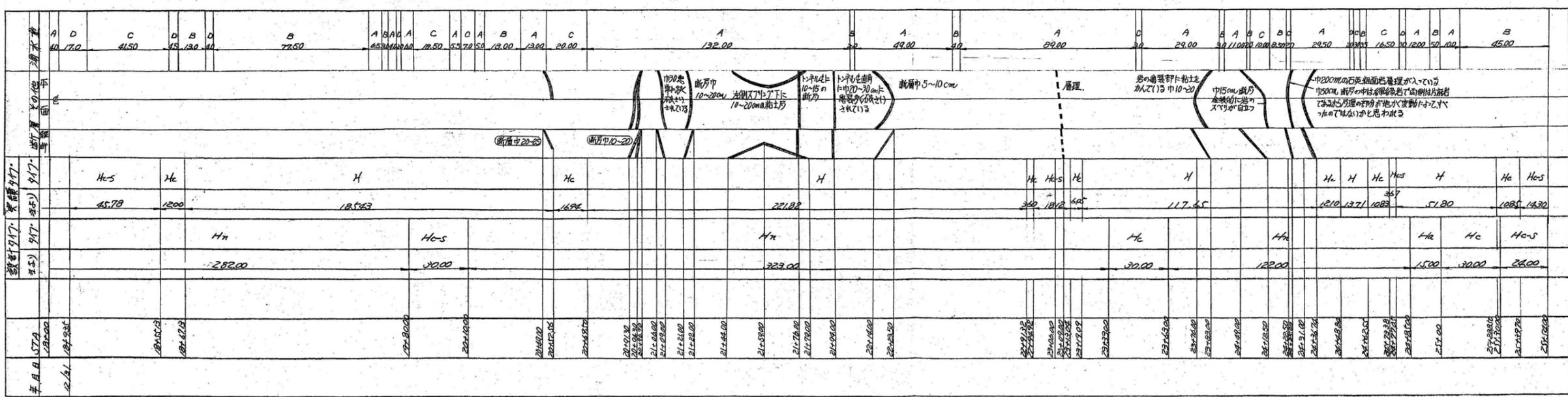
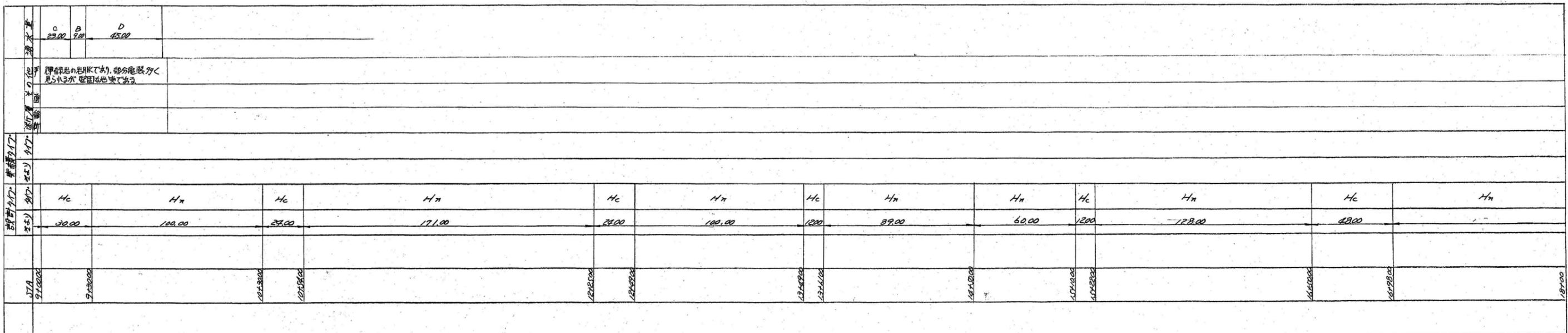
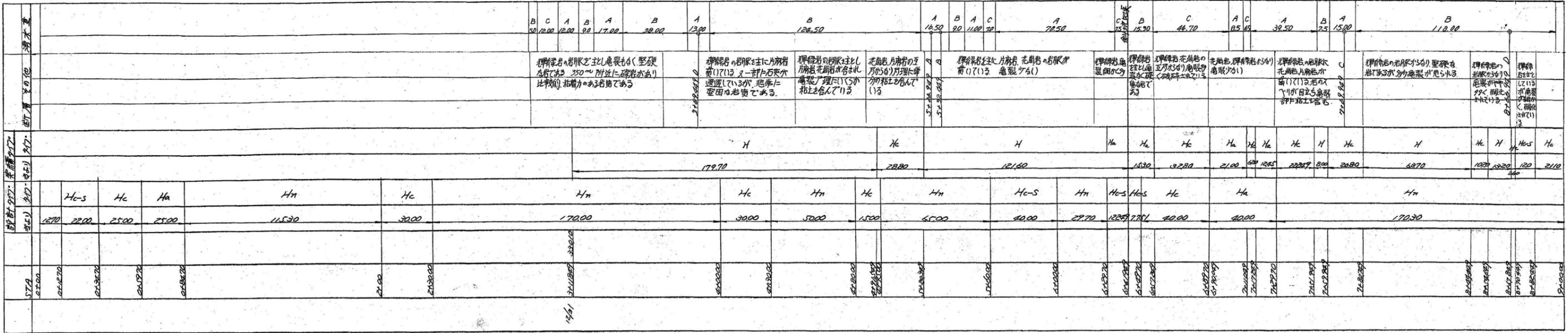
図面番号	図面名称	記号	図面名称
S-10147C-7	大入トンネル標準断面図	G-1	掘削標準詳細図
S-10227C-7	C#CおよびCT詳細図	G-2,3,4,5	排水関係標準詳細図
S-10225C-7	水位測定施設構造詳細図	G-9	ハンドレール標準詳細図
S-10293C-7	出口オートランジション構造詳細図	G-15	銘板および距離表示板標準詳細図
	上記関連図面以外は S-10147C-7 図に示す。	O-4	コンクリートライニング排水路標準設計図
		P-5	ディケ標準詳細図
		T-3	土砂トンネル工事共通注意事項
		T-4	面群標準排水路トンネル工事共通注意事項

**特別注意事項**

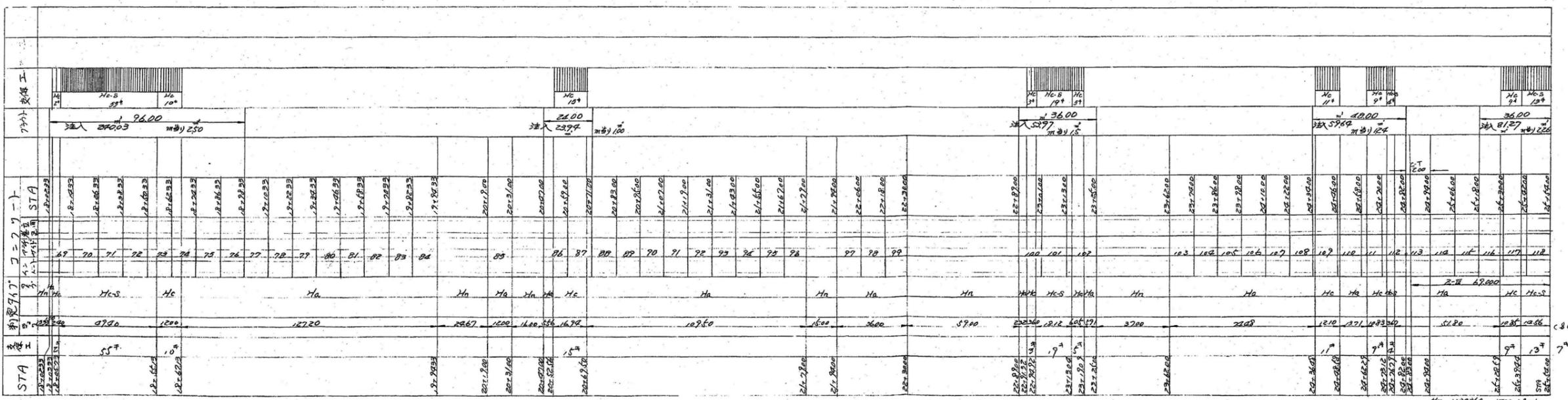
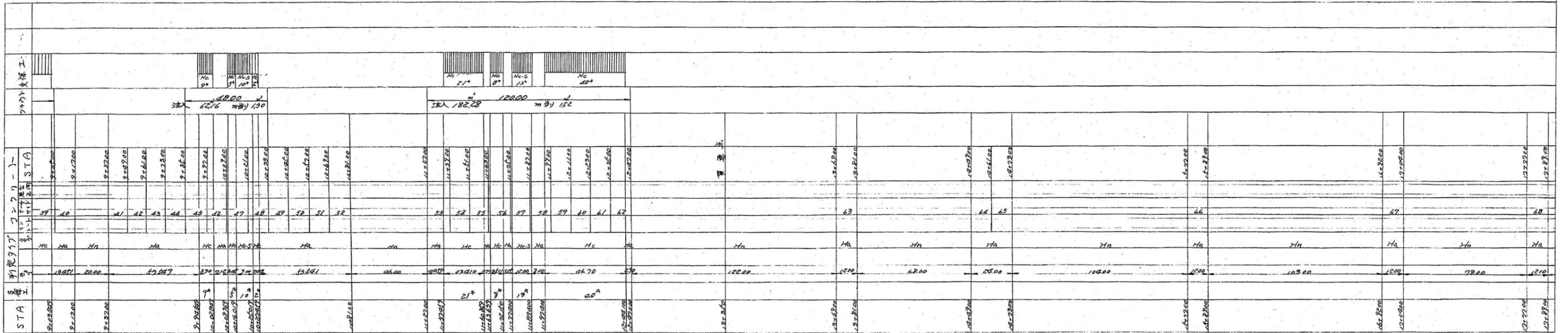
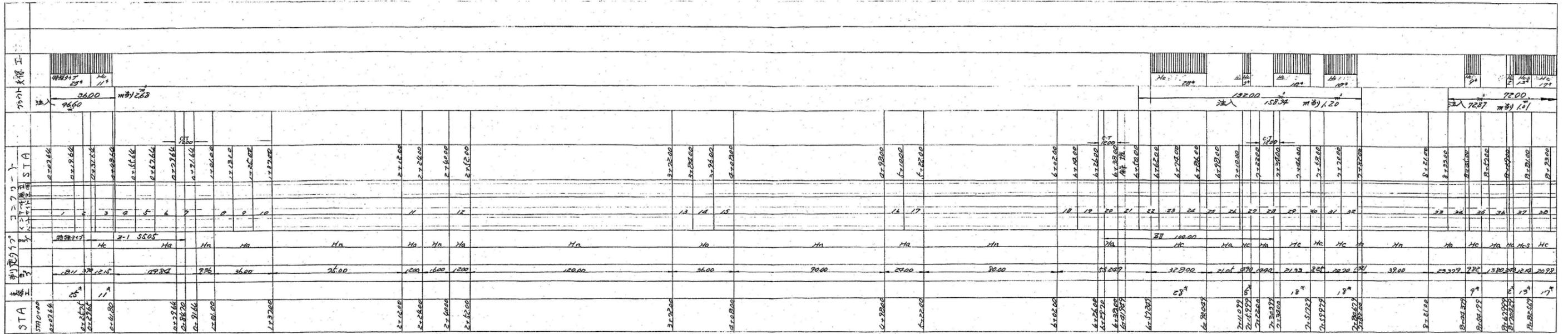
- Z-I, II, III の区間は地質の良否にかかわらずタイプ Ha, Hh は適用しない。
- トンネル掘削後の地質状況または吹付試験の結果によりタイプ Hg を追加することがある。
- タイプ Ha, Hh, Hcs の型特としてアーチ側壁にはスクリューインポートにはヒューズの使用を指図する。
- 施工の必要と監督員の承認を得て A 線以上に掘削する場合は左右対称とする。甚しい非対称部分は追加仕様書に示す材料で充填しなければならない。
- 工事一般仕様書に示す坑内湧水量の基準水量は 15% / km/sec とし、排水溝はインポートの中央に設置する。

件名	寒狭川導水路外耐震類推照査		
名称	大入導水路 平面図及び縦断面図 (当初)		
登録番号	整理番号	11	
独立行政法人 水資源機構 豊川用水総合管理所			



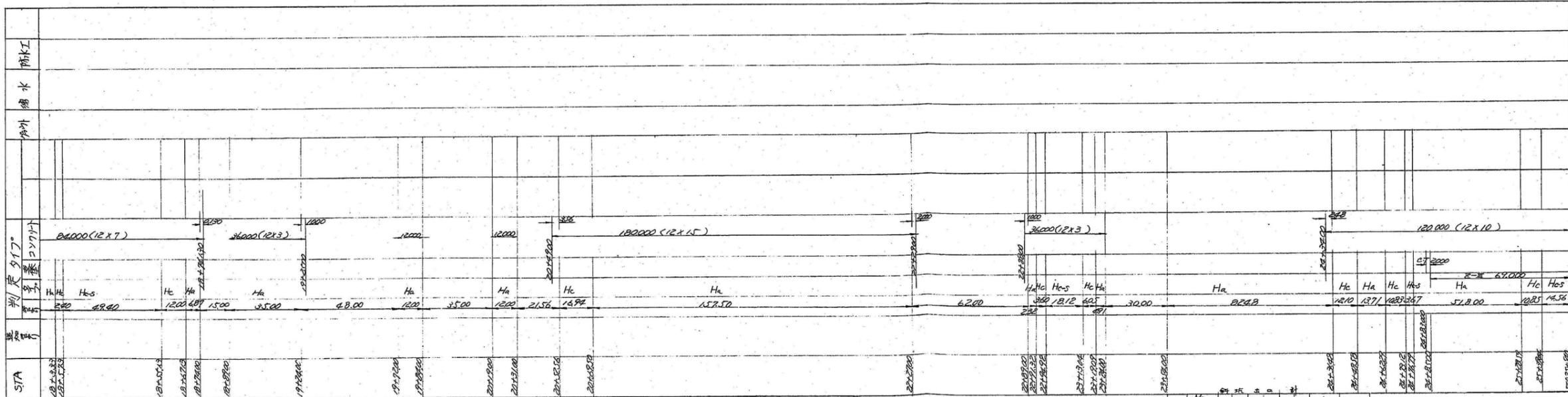
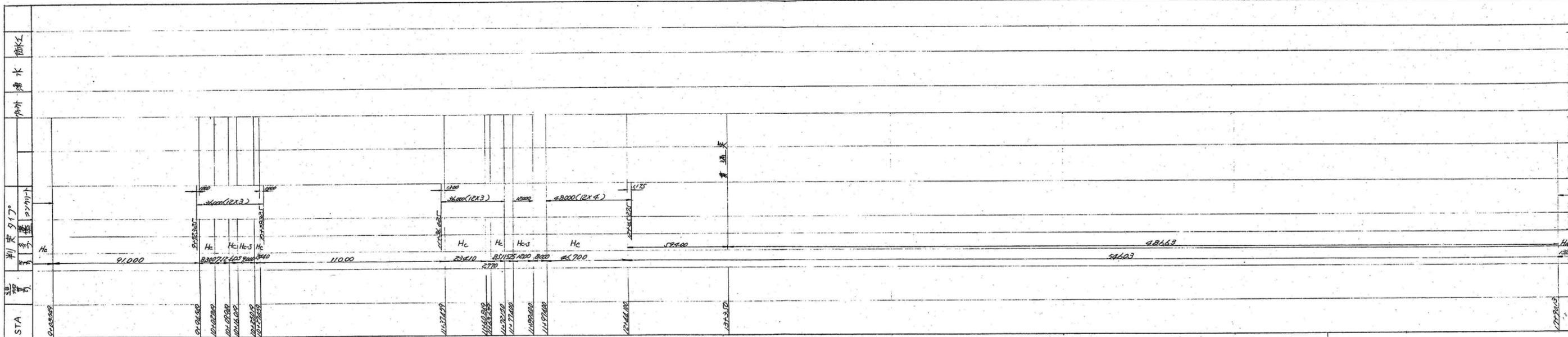
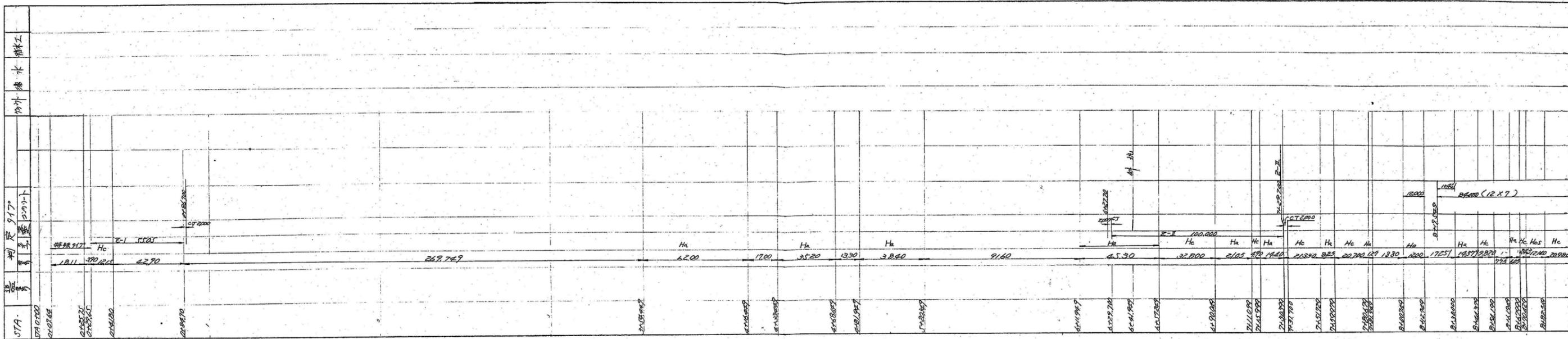


件名 寒狭川導水路外耐震類推照査  
 名称 大入導水路 縦断面図(地質縦断)  
 登録番号 整理番号 13  
 独立行政法人 水資源機構 豊川用水総合管理所



Hn 1130.360  
 Hn 979.809  
 Hc 295.201  
 Hc-3 112.890  
 287  
 129+7 = 134

件名 寒狭川導水路外耐震類推照査	
名称 大入導水路 トンネル実績図	
登録番号	整理番号 14
独立行政法人 水資源機構 豊川用水総合管理所	



判尺タイプ	管径	管長	管重	管容
判尺タイプ	1811	570	12.1	42.70
判尺タイプ	2697.27			
判尺タイプ	62.00			
判尺タイプ	17.00			
判尺タイプ	35.20			
判尺タイプ	13.30			
判尺タイプ	30.60			
判尺タイプ	91.60			
判尺タイプ	65.30			
判尺タイプ	32.700			
判尺タイプ	21.05			
判尺タイプ	14.40			
判尺タイプ	21.370			
判尺タイプ	20.790			
判尺タイプ	18.30			
判尺タイプ	22.00			
判尺タイプ	17.25			
判尺タイプ	14.37			
判尺タイプ	12.29			
判尺タイプ	11.70			
判尺タイプ	11.10			
判尺タイプ	10.50			
判尺タイプ	9.90			
判尺タイプ	9.30			
判尺タイプ	8.70			
判尺タイプ	8.10			
判尺タイプ	7.50			
判尺タイプ	6.90			
判尺タイプ	6.30			
判尺タイプ	5.70			
判尺タイプ	5.10			
判尺タイプ	4.50			
判尺タイプ	3.90			
判尺タイプ	3.30			
判尺タイプ	2.70			
判尺タイプ	2.10			
判尺タイプ	1.50			
判尺タイプ	0.90			
判尺タイプ	0.30			